

ふゆ 冬のスポーツ

楽しいスケート遠足

ヒルダ・ファン・ストックム 作／絵 ふなと よし子 訳 福音館書店 933-フ

オランダの子どもは、みんなスケートをするのが大好きです。本格的な冬がくると、国じゅうの運河が凍りついて氷の道ができます。エベルトとアフケは三年生のクラスです。先生がクラスみんなをスケート遠足に連れていくと言うと、子どもたちは歓声をあげました。

おさるのジョージスキーをする

M.&H.A.レイ 原作 福本 友美子 やく 岩波書店 E-レ

あるさむい日、さるのジョージはきいろいぼうしのおじさんとふゆのスポーツたいかいにでかけました。ジョージは、うちゅうせんのようなおもしろそうなものを見つけたのでのってみました。ユニホームをきたおにいさんがとめようとしましたが、そりはすべりだしてしまいました。

雪のおしろにいったウッレ

エルサ・ベスコフ 作・絵 石井 登志子 訳 徳間書店 E-ベ

ウッレはたんじょうびにもらったスキーで、もりにいきます。もりのおくにすすむにつれて、あたりはますますきれいになっていきます。ウッレがおおきなこえでよびかけてみると、しろくかがやく霜じいさんがあらわれました。そして冬王さまのおしろへいくために、ウッレは霜じいさんのあとについて雪のもりをすすんでいきました。

火曜日のごちそうはヒキガエル

ラッセル・E. エリクソン 作 佐藤 涼子 訳 評論社 933-E

二ひきのひきがえるのきょうだい、ウォートンとモートンは土の中のいごちのいい家にすんでいました。ウォートンがトゥーリアおばさんにさとうがしをもっていきたいというと、モートンは地面の上は冬なのでびっくりしてしまいました。すると、ウォートンは雪の上はスキーでいけばいいといいます。次の日から三日間、ウォートンはスキーづくりにかかりました。

ふたりのスケーター

ノエル・ストレットフィールド 著 中村 妙子 訳 教文館 933-ス

ハリエットは病気のせいで、腕も脚もびっくりするほど細くなってしまいました。医者のフィリップソン先生は、ハリエットの体力がもどるようにスケートを始めたらどうかと提案します。はじめてスケートリンクに行った日、ハリエットは三歳からスケートからをしているうらにおしえてもらうことになりました。

大森林の少年

キャスリン・ラスキー 作 ケビン・ホークス 絵 灰島 かり 訳 あすなろ書房 E-ホ

町でインフルエンザがはやっているので、十歳のマーベンは父さん母さんと離れてひとり木材の伐採場に暮らすことになります。出発の日、父さんは駅でスキーの板をわたしてくれました。二週間たって仕事にも慣れてきたマーベンは、まわりを探検したくなって、スキーをはいて森にむかいます。

大雪

ゼリーナ・ハンツ 文 アロワ・カリジェ 絵 生野 幸吉 訳 岩波書店 E-カ

あしたは子どものそり大会です。ウルスリはそりをかざるしたくにかかりました。フルリーナは、雪のなかをふもとの村の糸屋までそりにつける毛糸のふさをつくってもらいにいきました。ところがフルリーナがなかなかもどらないので、ウルスリはしんぱいになってむかえに行くことにしました。